

10月度 例会 個人 山行報告書		報告者	町田 修	参加 メンバー	CL ; 町田 修 (記) SL ; 金子清 天野 広 竹内幹雄 上田正博
		報告日	2019.11.		
山城	越後山脈	山行日	2019_10_21(月) 枝折峠よりピストン		
山名	越後駒ヶ岳				
山行目的	100名山 TRY		コースタイム (天候 : 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



1/2.5 万地形図 :

- 10.21 (月) 晴れ時々曇
- 4:40 枝折峠 P 発
- 5:25 明神峠
- 7:30 小倉山
- 8:50 駒の小屋手前
- 9:40 駒ヶ岳着
- 10:10 駒ヶ岳発
- 11:30 荒沢岳展望
- 13:20 小倉山
- 13:50 枝折峠 P 着
- 14:20 P 発
- 車移動 -
- 14:40 白銀の湯
- 雨が降る始める
- 18:00 双子キャビン



〈山行報告〉 快適な湖山荘で 2 泊する。前日の平ヶ岳の疲れも白銀の湯でしっかり取れ、皆さん体調はよさそうだ。3:00 に起床し、4:00 に朝食のおにぎりをもらって宿を出る。登山口の枝折峠は秋のこの時期、奥只見湖から立ち上る雲海で有名らしい。なるほど、駐車場も明神峠へのビューポイントも至る所に写真家で溢れている。越後駒の登りは長いので雲海は尻目に先を急ぐ。明神峠辺りで明るくなりヘッドランプを消す。辺りが明るくなるにつれ、紅葉の山肌が浮き上がってきた。東側には 200 名山の荒沢岳の岩峰が聳えている。その南東奥に平ヶ岳は有るのだろうが、上部は雲の中で見えない。小倉山まで来ると山頂が見えてくる。長い尾根道の奥の山容はどしりと構えていて、揺るぎない立派さがある。幾つかの小ピークを越えて駒の小屋に着く。冬季小屋もある立派な建物だ。ここから山頂は近く稜線に上がってしばらく行くと開けた山頂に着いた。クラブ 100 名山達成の 99 座目をクリアできて一安心。登りの途中でご一緒になった(いまさつは書くまでもない)越後美人、魚沼ヨシヒカリ(仮名)さんに記念写真を撮ってもらう。珍しく宿で弁当を作ってもらったので天野さんとゆっくりヨシヒカリ? 弁当をいただく。いつしか廻りはガスが湧いてきて、楽しみにしていた巻機山や尾瀬の燧ヶ岳は見えなかった。上り下りを繰り返す尾根道は、当然下りも長く、枝折峠まで 3 時間 40 分もかかった。

峠の駐車場は退いた雲海のようにひっそりと我々に車と数台がぼつんと残っていた。再度、白銀の湯に戻り魚沼駒ヶ岳の疲れをいやし、藤田パーティーが待つ双子キャビン (南魚沼) に向かう。奥只見湖ダムの工事用に作られた隧道 (シルバーライン / 22 km) は長くて狭く、ドライバーストレスのかかるトンネルだ。魚沼で食糧を買い込み、キャビンに向かう頃から雨が降り始めた。2,500 円 / 泊の宿で合流

〈リーダー所見〉 デンソーカレンダーでは珍しい 4 連休に台湾の玉山 3,952m を計画したが抽選に洩れ、その代替え計画に越後の山を選んだ。すでに 100 名山踏破の竹内さんも案内役で参加してくれ、中身の濃い楽しい山行になった。簡単に足を延ばせない越後の名山に紅葉と雲海のおまけ付で登頂でき、同行のメンバーに感謝したい。道中、千曲川の氾濫後を目にし、災害の凄まじさに自然の脅威を痛感する。



確認
(リーダー)
町
19/12/15
田

作成
(報告者)
町
19/12/15
田